

令和4年（2022年）6月10日

装飾古墳館開館30周年特別企画展

青銅器がもたらしたもの



～ムラからクニへ・古墳時代前夜～

京都国立博物館所蔵の青銅製品6点が約40年ぶりに里帰りします！

会期 令和4年（2022年）6月18日（土）～9月11日（日）

会場 熊本県立装飾古墳館 企画展示室

内容 熊本県内から出土した弥生時代の青銅製品と関連資料を通して歴史に残された謎を紐解きます。また、京都国立博物館が所蔵する、熊本県内出土の青銅製品6点の里帰り展示も行います。

- 構成**
- I 熊本県内の主な青銅製品の分布
 - II ムラと青銅製品 祭るモノ・使うモノ
 - III クニと青銅製品 祀るモノ・鎮めるモノ
 - IV 古墳時代前夜 納めるモノ・護るモノ
 - V 利器からさいしぐ祭祀具そして副葬品へ



主な展示物

◆クリスどうか形銅戈（2号）

真木遺跡（菊池郡大津町）出土〈1～3世紀〉京都国立博物館所蔵

◆銅矛（1号）

轟遺跡（植木町今古閑）出土〈1～3世紀〉京都国立博物館所蔵

他 京都国立博物館所蔵品4点、県内所蔵品約30点

時間 9：30～17：15（入館は16：45まで）

観覧料 大人430円（300円）

大学260円（180円）

※かっこ内は20名以上の団体料金

熊本県立装飾古墳館

担当：米田

TEL：0968-36-2151



(2022)
令和4年度企画展Ⅱ

青銅器

もたらしたものが

ムラからクニへ

古墳時代前夜



令和4年6月18日 [土] — — 令和4年9月11日 [日]
(2022) (2022)

弥生時代、原始共同体である

「ムラ」から原始国家の「クニ」へ

と成長していく時代の背景に

「祀り」がありました。その象徴

である青銅器の果たした役割は

時代と共に移り変わっていきま

す。

今回の企画展では、熊本県内

から出土した弥生時代の青銅製

品と関連資料を通して、歴史に

残された謎を紐解きます。

また、京都国立博物館の所蔵

する県内出土の青銅製品6点の

里帰り展示も行います。



熊本県立装飾古墳館

〒861-0561 熊本県山鹿市鹿央町岩原 3085 番地
Tel: 0968-36-2151 Fax: 0968-36-2120

開館時間：午前9時30分～午後5時15分

休館日：月曜日(祝日の場合翌日) 年末年始(12/25-1/4)

観覧料：一般430(300)円 大学生260(180)円
高校生以下無料 ※かつこ内は20名以上の団体料金

・感染症予防のためマスク着用の上ご来館ください。また、入館時には検温、手指消毒にご協力願います。
・新型コロナウイルスの感染拡大状況により予定を変更する場合があります。最新情報は古墳館のウェブサイトをご確認ください

